

保証とアフターサービス（よくお読みください）

型名：KTK-378



■ 修理の際は

下記の保証規定の範囲内で無償修理をさせて頂きます。

※ 販売店印がない場合は無効ですので、必ず印の有無をご確認ください。もし印がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。または商品の着荷時の送り状を貼り付けてください。なお、本書は再発行しませんので大切に保管してください。

※ 販売店へのお願い
お買い上げ日・貴店の住所・名称・電話番号を押印の上、お客様にお渡しください。

※保証期間内に故障して無償修理をお受けになる時は、商品と本書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼下さい。
保証期間内でも次の場合は有料となります。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字を書き換えられた場合。
- (ト) 本書は日本国内においてのみ有効です。

販売元 株式会社ヒロ・コーポレーション	輸入発売元 株式会社 KOM
〒800-0236 福岡県北九州市小倉南区下貫 2 丁目 7-1	〒815-0031 福岡県福岡市南区清水 3-4-4
TEL : 093-475-8558	
【ご質問・修理依頼・部品のご注文等は下記のお電話番号にお問い合わせください】	
サービスセンター TEL : 0120-05-1783 ※受付時間：9:00～17:00 (土・日祝日除く) E メール : info@kom408.com	

取扱説明書

KTK-378

温度調節機能付きグースネックケトル

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、必ず取扱説明書及び保証書をよくお読みください。
また、取扱説明書は必ず保管して必要に応じてご利用ください。
「保証書」はお買い上げ日・販売店名の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



* 水以外は沸かさないでください。故障や誤作動による事故の原因となります。
* 直火(ガス台等)や電気ヒーター・電磁調理プレートなどの上にのせないでください。

目次

安全上のご注意	1~3	お手入れ	11
お願い	4	日常のお手入れ	12~13
各部の名前をはたらき	5	このような時は・仕様	14
操作パネル	6	アフターサービス	15
使い方	6~10	MEMO	16~18

安全上のご注意

ご使用になる前にお読みください。

- ・お湯をわかすときは必ず上部をしっかりとおしめください。
- ・水以外は沸かせません。
- ・火にはかけられません。直火、電気ヒーターにはのせないでください。
- ・湯わかし中は注ぎ口をなにかでふさがないでください。
- ・湯沸かし中、湯沸かし後はハンドル以外の本体部は熱くなるので、
ふれないでください。また、熱い蒸気に気をつけてください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

△ 警 告

「取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

△ 注 意

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど(高温一低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが、やけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかる拡大損害をさします。

図記号の説明



○は、禁止(してはいけないと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意

!**警告**

本機には転倒時の漏水防止機能は有りません。転倒すると熱湯が漏れ出し火傷の恐れがあります。子供の手の届かない、又コードが足等に引っ掛けからない場所に設置してください。



分解禁止

火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買いあげの販売店またはお客様窓口にご相談ください。



水ぬれ禁止

ケトル本体を水に浸したり、水をかけたりしないまた、ぬれた場所に置かない

ショート、感電、故障の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

使用中、ふきんなどで注ぎ口をふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。



禁止

直火(ガス台等)や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せない

火災の原因になります。



接触禁止

コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電、ショート、発火の原因になります。



接触禁止

湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、ハンドル以外の高温部にふれない

やけどの原因になります。

お湯が沸いたときのケトル表面は、約80°C以上になります。



根元まで差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電、ショート、発火の原因になります。



禁止

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり挟み込んだり、加工したりしない

コードが破損し、火災、感電の原因になります。



接触禁止

湯沸かし中、注ぎ口やふたに顔や手を近づけたり、手を触れない

やけどをすることがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようにしてください。



100V. 10A以上

電源は交流100Vで定格10A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと、火災・感電の原因になります。



禁止

ケトルを傾けたり、ゆすったり、転倒させない

湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



禁止

最大目盛(MAX)以上の水を入れない

沸騰したお湯がふきこぼれ、やけど、感電、けがの原因になります。



ほこりをとる

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



確実に閉める

ふたをしっかりと閉めないと、沸騰してもスイッチが切れません。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないまた、ケトル本体底部や電源ベースの接触端子部にふれない

感電やけがの原因になります。



水ぬれ禁止

電源ベース、電源コード、電源プラグは、水に浸したり、水をかけたりしない

ショート、感電、故障の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意



ハンドルを持つ

ケトルを持ち選ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持つ
ケトルが落下したり、湯がこぼれたりして、けが、やけどの原因になります。



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等の可燃物の近くで使わない
火災の原因になります。



冷えてから行う

お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う
高温部に触るとやけどの原因になります。



禁止

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。



禁止

ケトル本体は湯沸かし以外の用途で使わない
氷を入れて保冷用に使わない
感電、故障などの原因になります。



しっかりと載せる

ケトルは電源ベースの中央にしっかりと載せる
転倒し湯が流れ出る、やけどをすることがあります。



禁止

専用の電源ベース以外は使わない
また、電源ベースは他の機器に転用しない
発火、故障などの原因になります。



プラグを抜く

使用以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがやけど、絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。



プラグを持って抜く

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電、ショート、発火の原因になります。



接触禁止

ふたを開けるとき出る蒸気に触れない
やけどの原因になります。



プラグを持って抜く

異常が発生した場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
やけどの原因になります。



禁止

電源ベース中央の接続部(金属部)にピンを差し込んだり、ゴミを付着させたりしない
ショート、感電、故障の原因になります。

お願ひ

ケトル本体に水が入っていないときは、スイッチをONにしないでください。
故障の原因になります。

余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。

水以外のものを沸かさないでください。
故障や汚れの原因になります。

ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
表面を傷めます。

お湯が沸騰するまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、おおよそ7分30秒です。

食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。
変形の原因になります。

残り湯は捨ててください。
放置すると変色・腐食の原因になります。

洗剤を使わないでください。
においの原因になります。

本製品は保温機能がありませんので、必要な時に必要な量だけ沸かしてください。

ケトル内部の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。
汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。

長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてから、保管してください。

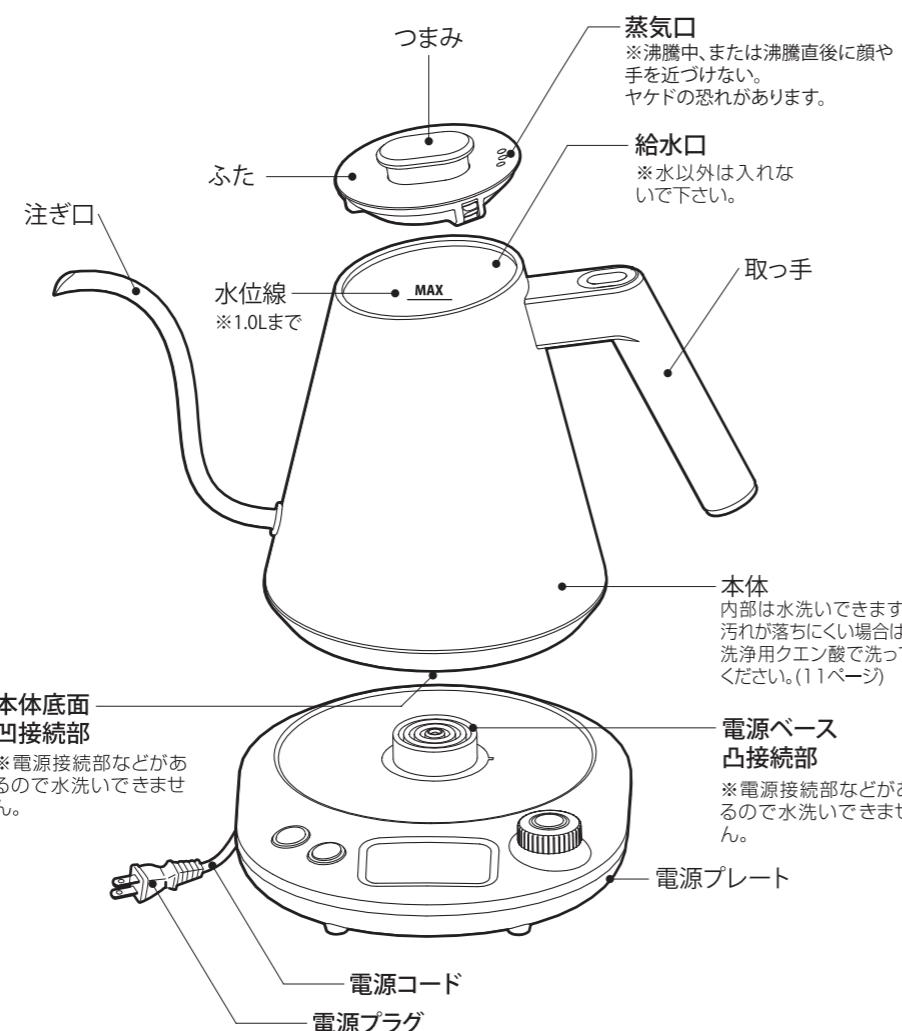
長時間清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

最小0.3LからMAXの範囲でお湯を沸かしてください。
空だき防止機能が働いて電源スイッチが切れたり、お湯があふれて、やけどや故障の原因になります。

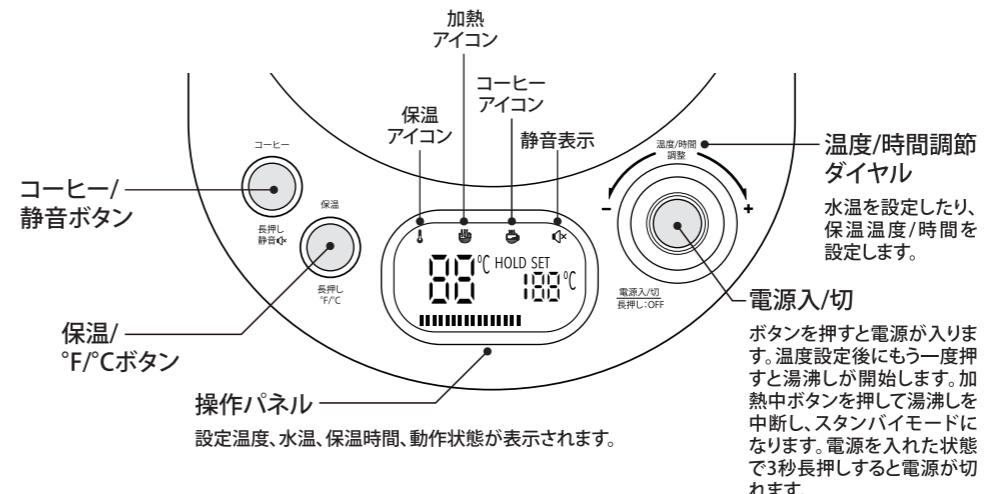
ケトルと電源ベースの接触端子部を確実に接触させてください。
接触が不具合の場合、電源スイッチが入らなかったり、切れなかったりします。故障の場合はお買いあげの販売店またはお客様窓口にご相談ください。

各部の名前とはたらき

- 本製品は、ケトル本体と電源ベースの分離式になっています。
- 電源スイッチを入れないと通電しません。また、ケトル本体を電源ベースから、はずすと電源スイッチは自動的に切れます。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。安全装置の回復まで20分程必要とし、その間電源スイッチを入れてもランプは灯きません。



操作パネル



使い方

警 告



最大目盛(MAX)以上
水を入れない
沸騰したお湯がふきこぼれ、やけど、感電、けがの原因になります。



湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、ハンドル以外の高温部にふれない
やけどの原因になります。お湯が沸いたときのケトル表面は、約80°C以上になります。



ケトル本体を水に浸したり、水をかけたりしないまた、ぬれた場所に置かない
ショート、感電、故障の原因になります。

水ぬれ禁止

- 初めて使うときは、事前にケトル内部を水またはぬるま湯でよくすいでください。

お願 い

※余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。

※約300ml以下の水量を沸かさないでください。空焚き防止機能が働いて自動的に電源スイッチが切れる場合があります。この場合は、ケトルを電源ベースから外し、しばらく冷ましてください。

※本器は保温機能はありませんので、必要な時に必要な量だけを沸かしてください。

使い方(つづき)

- 初めて使用するときや、長時間使用しなかったときは、一度お湯を沸かして捨ててください。

1. ふたを開けて水を入れる

※故障の原因になりますので、水以外のものは入れないでください。

※空焚きになる恐れがあるため、約300ml以上 の水を入れてご使用ください。

※沸騰時に溢れてしまう恐れがあるため、 MAX以上のお湯を入れないでください。



2. ふたを閉めて、電源プレートに本体をセットする

●本体底面の凹接続部と、電源ベースの凸接続部を合わせてセットします。

※沸騰時に溢れてしまう恐れがあるため、ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。

※正しくセットしないと上手く加熱できない可能性があります。
また、転倒してお湯が溢れたり、本体の故障の原因になります。

※本体の底面や電源ベースの上にゴミやホコリがないことを確認してください。



3. 電源プラグをコンセントに差し込む

※根元までしっかりと差し込んでください。



使い方(つづき)

- 湯沸かし中や湯沸かし直後は、絶対に蓋を開けたり、お湯や水を継ぎ足したりしないでください。やけどする恐れがあります。

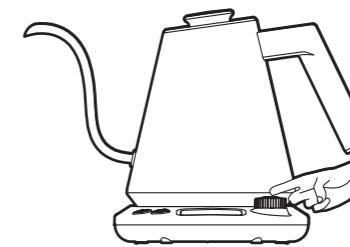
4. 電源入/切ボタンを押して、電源を入れる

●ブザーが鳴り、電源入/切ランプが点滅します。

●アイコンが点滅したら、沸騰が開始します。

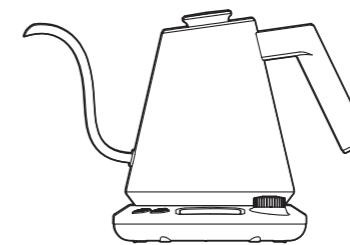
※操作しないまま5分経過すると、電源入/切ランプが消灯します。

※再度使用する場合は、電源入/切ボタンを押してください。



5. お好みで温度を選ぶ

●コーヒーボタンを押すたびに沸騰モードとコーヒーモードが切り替えられます。
初めは沸騰モードとなり、操作パネルには アイコンとお湯の温度が表示されます。



沸騰モード

温度調節ダイヤルを回することで温度を手動で設定します。
40~100°Cの間で、5°C刻みで設定できます。

また、°F/°Cボタンを3秒ほど長押しすると、温度単位が切り替えられます。
温度単位を°C→°Fに切り替えることも可能です。
100~212°Fの間で、9°F刻みで設定できます。

コーヒーモード

コーヒーボタンを押すと、操作パネルに アイコンとお湯の温度が表示されます。
初期設定温度は91°Cと表示されます。温度調節ダイヤルを時計回りに回すたびに、
温度表示が91°C→93°C→96°Cの順に切り替わります。

使い方(つづき)

- 湯沸かし直後は、本体が熱くなっているのでご注意ください。

6. 電源入/切ボタンを押してお湯を沸かす

- ブザーが鳴り、電源入/切ランプが点灯します。
- 湯沸かしが完了すると、自動的に加熱が終了します。なお、加熱が終了する際は、電源入/切ランプが点滅し、ブザーが2回鳴ります。
- ※湯沸かしを中断するには、電源入/切ボタンを押します。電源入/切ランプが点滅し、加熱が中断されます。もう一度押すと、加熱が再開されます。
- ※保温設定をせずに5分経過すると、電源入/切ランプが消灯します。再度使用するときは、電源入/切ボタンを押してください。



7. お湯を注ぐ

- ※沸騰がおさまってからお湯を注いでください。
- ※水のつぎ足しをくり返して長時間使用すると、水あかが付着したり、お湯が変質したりすることがあります。1日1回はお湯を捨ててください。



使い方(つづき)

静音機能

- 静音ボタンを3秒ほど長押しすると、操作パネルには のアイコンが表示されます。製品は静音モードに入り、音声提示はありません。

温度単位切替

- °F/Cボタンを3秒ほど長押しすると、温度単位が切り替えられます。
- デフォルトの温度単位は「C」となります。

保温機能

- 保温ボタンを押すと、保温ランプが点灯し、保温設定モードになります。操作パネルの右側はHOLDと希望時間が表示されます。10分間～2時間で、温度/時間調節ボタンを回ることで10分間刻みで設定できます。
- 湯沸かしが完了してから操作パネルには アイコンと残り保温時間が表示され、保温を開始します。

空だき防止機能

- 容器内が空のまま電源を入れると、空だき防止機能が働いて、自動的に電源が切れます。
- そのような場合は、本体を電源プレートから外し、十分に冷めてから水を入れ、再度電源プレートの上に置いて、お湯を沸かしてください。

- ※保温設定モードに入ってから3秒操作しないと温度設定モードに変更します。操作パネルの右側にはSETと沸騰温度が表示されます。その場合は、保温ボタンを2回押してから保温設定モードになります。
- ※保温中に本体を電源プレートから外しても、再度電源プレートに本体をセットすると保温は再開されます。
- ※保温時間設定中に、もう一度保温ボタンを押すと、保温ランプが消灯し、保温を取り消します。保温開始後、いずれかのボタンを押すと保温が終了します。

お手入れ

！警告



電源ベース、電源コード、電源プラグは、水に浸したり、水をかけたりしない。
ショート、感電、故障の原因になります。



お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う。
高温部に触るとやけどの原因になります。

- 日常、こまめにお手入れしてください。(9~11ページ)
- 長く使用しているとケトル内部に水アカや白い浮遊物などが付着します。
- 汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおすすめします。(11ページ)

お願い

- ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。変形の原因になります。
- 洗剤を使わないでください。においの原因になります。
- 容器の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れください。汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の昔が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

ケトル内部の水アカ(変色)や白い浮遊物について

- 白い浮遊物(ミネラル分の結晶)
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

上の例は、水に含まれるミネラル分などの作用によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。

衛生上問題はありませんが、定期的にクエン酸でお手入れしてください。(11ページ)

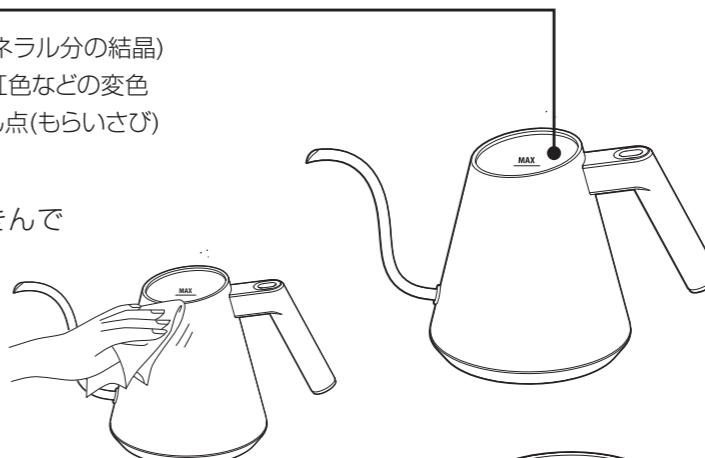
※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水アカが発生しやすくなります。

日常のお手入れ

ケトル内部

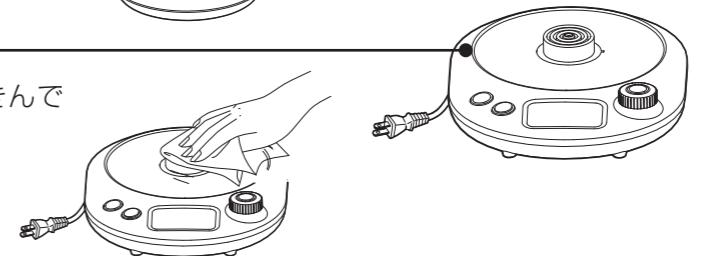
- 白い浮遊物(ミネラル分の結晶)
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点(もらいさび)
- ざらつき

よく絞ったふきんでふきます。



電源ベース

よく絞ったふきんでふきます。



ケトル本体

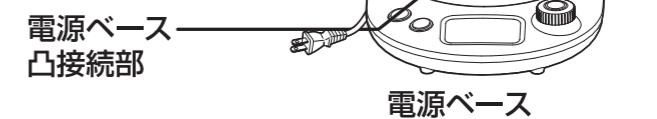
<水洗いできません>

- ケトル本体下部、電源ベースには電源接続部などがあるのでケトル本体の内部以外は水洗いすることはできません。

ケトル底面 凹接続部



電源ベース 凸接続部



日常のお手入れ

ケトル内部の落ちにくい
汚れを取るためには

クエン酸洗浄

市販の電気ケトル洗浄剤が簡単で
便利です。その場合は洗浄剤の取扱
い指示に従ってご使用ください。

1. ケトル本体に最大水位目盛(MAX)まで水を入れ、約15gのクエン酸を 入れて、ふたをする

2. ケトル本体を電源ベースに乗せ、電源を入れる

- ①水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく(ケトル底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて)セットします。
- ②ふたがしっかりと閉まっていることを確認します。
- ③電源スイッチを押します。電源ランプが点灯します。

3. お湯が沸き、電源が切れる

- ・お湯が沸くと自動的に電源が切れます(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消える)。

沸騰後、約1時間放置する

4. ケトル本体を電源ベースからはずし、お湯を捨てる

5. ケトル内部をよく水ですすぐ

6. クエン酸のにおいをとるため、水だけを最大水位目盛(MAX)まで入れ て再度、沸騰させて、お湯を捨てる

- ・お湯の沸かしかた、捨てかたは上記2~4までをくりかえします。

お願い

- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。
- クエン酸洗浄の湯は飲まないようにしてください。
- 必ず、水から洗浄を始めてください。湯は入れないでください。
- MAX以上に水を入れないでください。
- クエン酸洗浄後は電源ベースへの通電を止めます。

このような時は

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

こんな時は?	調べるところ	処置
湯が沸かない	電源ベースのコンセントがはずれていませんか。	コンセントをきちんと差し込んでください。
作動しない。沸騰する前にスイッチが切れてしまう	0.3Lに満たない水量で湯を沸かしていませんか。 また、水が入っていない状態でスイッチを入れたりませんでしたか。 ケトルを空ださると、空だき防止用の安全装置が作動して、スイッチが入りません。	ケトルをよく冷ました後、水を入れて、電源スイッチを押してください。
湯に白い物が浮く、容器内が汚れていますか。壁面がはがれたように見える	水アカが容器に付着したものがはがれました。 ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。有毒ではありません。	容器をお手入れしてください。
湯沸かし時の音が大きくなる	ケトル内部底面に水アカが付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。
電源スイッチが入らない	ケトルと電源ベースの端子接触部が正しく接触していますか。	接触を確実にする。
電源スイッチが切れない	ふたが閉まっていますか。ふたがしっかりと閉まらないと沸騰してもスイッチが切れません。	ふたをしっかりと閉めてください。

上表にしたがってお調べいただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	800W
容量	1.0L
本体サイズ	約 (W)29.5 × (D)21.5 × (H)20.0cm
重量	約 0.9kg
コード長	約 70cm

アフターサービス

1.保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2.保証期間は、お買い上げ日より1年間

3.修理を依頼されるとき

「故障かなと思ったとき」をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、コンセントから差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。
《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証書の記載内容に基づき修理いたします。

《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4.補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 5年間

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

MEMO

愛情点検	長年ご使用的ケトルの点検を！		
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none">●ご使用中、電源コードやプラグが異常に熱くなる●焦げくさいにおいがする●製品の一部に割れ・がたつき・ゆるみがある●その他の異常や故障がある	<p>ご使用中止</p> <p>こんな症状のときは、故障や事故防止のため、コンセントから差込みプラグを抜いて、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。</p>